

試験日 : 2025 年 10 月 19 日 (日)

入試種別 : 大学院入学試験(4 月入学)修士課程 秋期試験 自己推薦

学部・研究科 : 実践真宗学研究科

科目名 : 専門科目

解答又は解答例

1

(1)

物事の真理に暗いこと。愚癡とも称される。仏教では迷いの根本とされ、貪欲・瞋恚と合わせて三毒煩惱の一つに数えられる。

(2)

阿弥陀仏の発した四十八願のうち、第十八願・第十九願・第二十願の三願のこと。これら三願は、衆生が極楽浄土に往生するための因（生因）が誓われていることから、生因三願と呼ばれる。

2

(1)

あらゆる衆生、その名号を聞きて、信心歓喜して乃至一念せん。至心に回向してかの国に生れんと願すれば、すなわち往生を得、不退転に住せん。ただ五逆と誹謗正法とをば除く。

無量寿仏の名を聞いて信じ喜び、わずか一回でも仏を念じて、心からその功德をもって無量寿仏の国に生れたいと願う人々は、みな往生することができ、不退転の位に至るのである。ただし、五逆の罪を犯したり、仏の教えを謗るものだけは除かれる。

(2)

弥陀仏の本願を憶念すれば、自然に即のとき必定に入る。ただよく常に如来の号を称して、大悲弘誓の恩を報ずべし。

阿弥陀仏の本願を信じれば、おのずからただちに正定聚に入る。ただ常に阿弥陀仏の名号を称え、本願の大いなる慈悲の恩に報いるがよい。

(3)

本願のはたらきによって成就された浄土には、自力の信と行では往生できないので、大乘や小乗の聖者であっても、みな本願のはたらきにおまかせするのである。

当該問題は、宗教的实践に関する受験生の知識・体験・姿勢等を総合的に問うものであり、その解答は一義的でなく解答例の提示にはなじまないことから、以下に採点のポイントを示す。

採点は、以下の点を踏まえて総合的に評価する。

- ・ 解答の字数が設問の指示に従っていること。
- ・ 自身の考えが設問の指示を踏まえて述べられていること。
- ・ 宗教的实践に関する知識・考察が十分と認められること。
- ・ なお、誤字、脱字等、難のある記述には減点を行う。